

第34回

化粧品包装セミナー

日時 令和7年9月19日(金)

化粧品包装セミナーの参加申し込み方法について

JPIホームページ(URL:<https://www.jpi.or.jp/>)より参加登録をお願いします。

Zoomを使用したオンラインセミナーとなります。

お申込みの方に、事前登録等の手続きをメールでご案内します。

主催：公益社団法人日本包装技術協会

プログラム

時間	講演内容	講師
13:00 } 13:50	<p>『フィルム容器の普及、本体容器化の拡大に向けて』 —らくらくスイッチの開発事例—</p> <p>花王はこれまで、「つめかえやすさ」を追求したフィルム容器「ラクラクecoパック」、次いでラクラクecoパックを「つめかえ」ではなく「つけかえ」として使える「スマートホルダー」を発売し、フィルム容器でありながら従来の容器(ポンプとボトル)と同じように使用できる本体容器形態を提案してきた。さらなるフィルム容器の普及、本体容器化の拡大に向け、軽い押し力で液を調整して出すことができ、空気や水の侵入がなく常に衛生的な、ラクラクecoパックに取り付けることでペタンコになるまで製品を使いきれ、ドーム型のエアレスポンプ機構を持つ「らくらくスイッチ」を開発し、環境対応と使いやすさの両立を実現した。本講演では、フィルム容器に関する花王の取り組みについて、らくらくスイッチの開発事例を交え紹介する。</p>	<p>花王株式会社 包装技術研究所・研究員 大島 貴宏 氏</p>
14:00 } 14:50	<p>『ガラスびんの基礎、化粧品容器としてのガラスびん』</p> <p>ガラスびんの成形基礎(原料溶解からガラスびんが出来るまで) 化粧品容器としてガラスびんに求められる事項と対応</p>	<p>興亜硝子株式会社 グローバル営業本部・本部長 / 商品開発本部・本部長兼務 佐藤 強 氏</p>
15:00 } 15:50	<p>『化粧品容器包装の設計で求めるもの』機能の奥にある本質を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般的に、容器包装の機能は「中身保護」「使用性」「情報伝達」に整理できます。化粧品ではさらに、「意匠性」も大きな位置を占めています。 それらの機能によって使用者が得る体験(ユーザー体験:UX)を最適化することが、設計で求める本質であると考えられます。 そのUXを最適化する方法として人間中心設計という手法をご紹介します、実践する際の基本的な考え方や備えておきたい素養についてお話しします。 併せて今回は、どのような組織と仕組みで実践していくとよいか、試案/私案をご案内します。 	<p>尾崎技術士事務所 代表 尾崎 尚武 氏</p>
16:00 } 16:50	<p>『店舗空間開発から見る、今後の化粧品パッケージの展望』</p> <p>私どもは、化粧品メーカー様・専門店様の店舗開発に長年携わって参りました。店舗開発では、商品をお客様(エンドユーザー)にお届けるための接点としてふさわしい機能・サービス・環境などを作り上げますが、何より商品の魅力をお伝えするための「体験設計」の視点が大切です。特に、お客様が商品を理解し購入に至るためにはパッケージが大きな役割を担っており、パッケージデザインと店頭体験は密接に関係しています。未来の店舗体験・コスメ体験を見据え、「これからの化粧品パッケージデザインの可能性」について、お話しさせていただきます。</p>	<p>株式会社 東急エージェンシー 商空間クリエイション局 第2開発部 部長 井上 友香理 氏</p>

講師のご紹介

大島 貴宏 (オオシマ タカヒロ) 氏

花王株式会社
包装技術研究所・研究員

ご略歴 2008年 花王株式会社入社。化学品研究所に配属、環境調和型樹脂開発に携わる。
2015年より包装技術研究所にてシート・道具、フィルムボトル容器の技術開発等に従事し現在に至る。

佐藤 強 (サトウ ツヨシ) 氏

興亜硝子株式会社
グローバル営業本部・本部長／商品開発本部・本部長兼務

ご略歴 1994年 興亜硝子株式会社入社 製品設計課配属
2005年 上海興雅玻璃材料有限公司(グループ中国法人) 出向
2012年 帰任 企画開発部 次長着任
2017年 グローバル営業本部／商品開発グループ 部長着任
2019年 グローバル営業本部 統括部長着任
2025年 現職に至る

尾崎 尚武 (オザキ ナオタケ) 氏

尾崎技術士事務所
代表

ご略歴 1984年 東京理科大学大学院修士課程終了。
同年(株)資生堂入社 工場、研究所で主に化粧品等の容器包装設計を担当。
2018年から品質保証部で商品開発の品質保証を担当。
2020年に同社を定年退職後、再雇用で品質保証を担当。
2024年に退職後、現職。

井上 友香理 (イノウエ ユカリ) 氏

株式会社東急エージェンシー
商空間クリエイション局 第2開発部 部長

ご略歴 早稲田大学大学院 創造理工学研究科 建築学専攻修士課程修了。
学生時代は、人間行動学に基づく建築計画を研究する。2012年東急エージェンシー入社後、マーケティング局にて広告戦略立案業務に携わったのち、商空間クリエイション局へ。
物販店舗・複合商業施設を中心に、生活者との関係を築き、事業成長を続けるためのブランディング・店舗デザインを手掛ける。新業態開発の実績多数。

開催要領

● **日時**：令和7年9月19日(金) 13:00～16:50

※Zoomを利用したオンラインセミナーです。

● **定員**：100名

● **参加申し込み方法と注意事項**

● **参加費**：

1名分参加費	会 員	一 般
本 体	9,000円	20,000円
消費税10%	900円	2,000円
税込合計	9,900円	22,000円

参加申込方法

- 本催しは「Zoomウェビナー」を利用したオンライン配信となります。
お申し込みは当会ホームページの化粧品包装セミナー参加申込ページよりご登録下さい。
当会ホームページURL：<https://www.jpi.or.jp/>
- 参加申込者には**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。
(登録後、事前の参加手続きが必要ですのでご注意ください。)
- 申し込みされた方には後日参加料請求書をお送りします。
- 申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。

注 意 事 項

- 1 「Zoomウェビナー」を利用したオンライン配信となりますのでご利用の端末へのZoomアプリケーションのインストールおよびインターネット接続が必要となります。
- 2 接続回線の状況により視聴しにくい場合があります。通信費・接続利用料金等は自己負担となります。
- 3 本セミナーの内容について、録画・録音・キャプチャー取得によるデータ保存行為を固く禁止します。
- 4 申し込みの際メールアドレスの入力が間違っていると案内メールをお送り出来ませんのでご注意ください。
- 5 開催3日前からのキャンセルによる参加費のご返金はできませんのでご注意ください。

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「第34回化粧品包装セミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。

● お問い合わせ先 ●

公益社団法人日本包装技術協会 化粧品包装セミナー係 担当：坂本

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

TEL.03 (3543) 1189 FAX.03 (3543) 8970 e-mail : sakamoto@jpi.or.jp